

様式 1
(個人・グループ・学校用)

(候補者が作成し推薦機関に提出)

候補者の概要書 (個人・グループ・学校用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名*1 (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	カガナ (半角カナ) : (個人の場合この欄に押印) 印
②取組の実践場所 (市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	印
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒) 所属機関等の名称 部署部署・役職 氏名 電話番号 F A X 番号 E メール

連名による応募の場合、もう 1 者の名称・連絡先等を記入し各者押印してください。3 者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加してください。

①候補者名*1 (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。	カガナ (半角カナ) : (個人の場合この欄に押印) 印
②取組の実践場所 (市区町村まで記入)	
③代表者役職・氏名 (グループ・学校の場合のみ)	印
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所 (〒) 所属団体等の名称 部署部署・役職 氏名 電話番号 F A X 番号 E メール

2. 3R 活動の実施内容

今回、推薦を受ける 3R 活動の内容について記入してください。

なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げてください。

注) 審査では 6 ページ「審査基準」に示す項目について評価します。これらの項目を評価できるように、以下の記入欄は漏れなくご記入をお願いします。記入例は削除して、ご記入ください。

①活動テーマ名
今回、推薦を受ける 3R 活動の内容を端的に表すテーマ名を 40 字以内で付けてください。
(記入例)「あきびん、PET ボトルの回収活動」、「市民が中心となったマイバッグ運動の展開」等
②活動の概要
3R 活動の概要を 1,000 字程度で記入してください*2。
(記入例) 使用済〇〇の回収・リユース活動を昭和□□年より実施している。当時、〇〇のリユースは困難とされ、ほとんど行われていなかったが、当グループでは行政・回収業者・メーカーへの働きかけにより、全国に先駆けてこれを実現した。開始当初のリユース量は□□t/年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では□□t/年となっている。また、〇〇リユース運動を広めるために、各地の NPO 等を対象に〇〇リユースの手法やノウハウに関する講習会を開催し、これまでに、受講した市民グループが全国 10 箇所ですべて〇〇リユースに取り組むようになった。

*2 過去の受賞者の活動概要(表彰結果発表資料)がリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。(http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki)

③活動の詳細内容

3R 活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください（活動の特長や工夫が分かるよう
にご記入ください）。

④3R 活動の区分

実施している活動の区分について、該当するものに○を付けてください（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、27 ページの「取組の例」を参考にしてください。

リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等

⑤活動開始時期・継続年数

3R 活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑥対象品目・量等の実績

3R 活動の対象品目、および過去 3 年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。

<リデュース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³

<リユース>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³

<リサイクル>

年度 品目	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³

⑦活動による効果

3R 活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。

【廃棄物の削減効果】

【省資源・省エネルギー効果】

【環境保全効果】

【その他の効果】

⑧活動地域の範囲、他の 3R 活動主体や他地域との連携協力、地域密着性

3R 活動の実施地域の範囲を記入してください。

他の 3R 活動主体や他地域との連携・協力を行っている場合は、その内容を具体的に記入してください。

地域の特性や廃棄物問題を踏まえた 3R 活動である場合、その内容を具体的に記入してください。

⑨活動の頻度

3R 活動の実施頻度を記入してください。

（記入例）びんの回収：週 1 回、古紙の回収：毎日、フリーマーケット開催：月 1 回等

⑩独創性・先鞭性

他にあまり例を見ない独創的な3R活動や、他に先駆けた先進的な取組を行っている場合は、その内容及び独創的・先進的であるとする理由を記入してください。

⑪啓発普及・教育活動の実施、波及効果

3Rに関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入してください。

他のグループ・学校等の3R活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入してください。

⑫その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記 (A) ～ (D) に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 本表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で過去に受賞
- (B) 本表彰制度で、今回推薦される内容とは違うテーマの活動で過去に受賞
- (C) 他の表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で過去5年間に受賞
- (D) 他の表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中

受賞歴及び 応募状況 (上記 (A) ～ (D) を 記入)	表彰制度名 (上記 (C)、(D) の場合、 記入)	受賞年度 (上記 (A) ～ (C) の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記 (A) ～ (C) の場合、 記入)	受賞時のグループ名・学校 名が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記 (A) ～ (C) で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C) に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R 実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R 活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	(記入例) ・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	(記入例) 左記の活動に加え、〇〇年から家具・日用品等の修理・不用品交換 の事務局活動を開始、リサイクルのみならずリユースにも取り組む ようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者や リサイクル量実績も格段に進展した。
3R 対象品目 について	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化： 生ごみ	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶、PET ボトル ・堆肥化： 生ごみ ・不用品交換： 家具・衣類・日用品・図書等
3R の実績量 について	(記入例) ・古紙回収量： 500kg/年 ・ガラスびん回収量： 1,200 本/年 ・アルミ缶回収量： 200kg/年 ・生ごみ処理量： 150kg/年 (堆肥生産量： 40kg/年)	(記入例) ・古紙回収量： 1,200kg/年 ・ガラスびん回収量： 2,500 本/年 ・アルミ缶回収量： 800kg/年 ・生ごみ処理量： 500kg/年 (堆肥生産量： 200kg/年) ・不用品交換の成立実績： 120 件/年
活動の実施地域 について	(記入例) 〇〇町内で実施	(記入例) 〇〇町に加え、隣接する××町、△△町に活動範囲を拡大
活動の参加者数 について	(記入例) 〇〇町内の 25 世帯が活動に参加	(記入例) 〇〇町 50 世帯、××町 15 世帯、△△町 20 世帯が活動に参加す るようになった。
活動の質的な 向上について	(記入例) 生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭や家 庭菜園で使用	(記入例) 左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥を使 ってもらうようになった。
上記以外の進展 事項、アピールし たいポイント	(記入例) 他の 3R 活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、平成〇〇年にホームページとインターネ ット掲示板を開設した (アドレス http://〇〇〇〇.jp)。	

候補者の概要書（事業所・地方公共団体等用）

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名*1 (事業所・地方公共団体等の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。		フリガナ (半角カナ):
②取組の実践場所 (市区町村まで記入)		
③代表者役職・氏名		印
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所	(〒)
	所属企業・機関名	
	部署・役職	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

連名による応募の場合、もう 1 者の名称・連絡先等を記入し各者押印してください。3 者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加してください。

①候補者名*1 (事業所・地方公共団体等の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく 30 字以内にしてください。		フリガナ (半角カナ):
②取組の実践場所 (市区町村まで記入)		
③代表者役職・氏名		印
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所	(〒)
	所属企業・機関名	
	部署・役職	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

2. 3R 活動の実施内容

今回、推薦を受ける 3R 活動の内容について記入してください。

なお、記入欄の大きさが足りない場合は、適宜拡げてください。

注) 審査では 6 ページ「審査基準」に示す項目について評価します。これらの項目を評価できるように、以下の記入欄は漏れなくご記入をお願いします。記入例は削除して、ご記入ください。

①活動テーマ名

今回、推薦を受ける 3R 活動の内容を端的に表すテーマ名を 40 字以内で付けてください。

(記入例) 「使用済〇〇の自主的な回収・リユースの実施」、「半導体工場から発生する各種廃棄物の発生・排出削減」等

②活動の概要

3R 活動の概要を 1,000 字程度で記入してください*2。

(記入例) 使用済〇〇の自主的な回収・リユースを他社に先駆けて平成□□年より実施している。使用済〇〇は現在の法律・ガイドラインでは回収は義務づけられていないが、当社は〇〇のトップメーカーとして年間□□t もの〇〇が廃棄・不法投棄されていることに鑑み、これに取り組んだ。回収の実施にあたっては販売店・流通業者等と検討を重ね、最適な回収システムを構築するとともに、お客様に対して〇〇回収への協力を呼びかける店頭キャンペーン等を実施している。

また、回収した〇〇の分解・部品検査・劣化箇所の交換・再組立・動作確認に関する技術、及び再生〇〇の品質基準を独自に確立し、従来困難とされていた〇〇のリユースを実現した。当初のリユース量は□□台/年であったが、毎年着実に量を増やし、現在では□□台/年となっている。

さらに、〇〇リユースを業界全体に広めるために、同業他社に対しても技術やノウハウを開示するとともに、小中学生を対象としたリユース工場の見学会を開催する等により、地域における 3R 啓発・教育にも尽力している。

*2 過去の受賞者の活動概要（表彰結果発表資料）がリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。(http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki)

③活動の詳細内容

3R 活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください（活動の特長や工夫が分かるよう
にご記入ください）。

④3R 活動の区分

実施している活動の区分について、該当するものに○を付けてください（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、27 ページの「取組の例」を参考にしてください。

リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等

⑤活動開始時期・継続年数

3R 活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑥対象品目・量等の実績

3R 活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。

なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生紙、ガス化燃料、セメント原料、高炉還元材利用等）を記入してください。

<リデュース>

品目 \ 年度	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³

<リユース>

品目 \ 年度	年度	年度	年度
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³
	t m ³	t m ³	t m ³

<リサイクル>

品目 \ 年度	年度	年度	年度	再生品・用途
	t m ³	t m ³	t m ³	
	t m ³	t m ³	t m ³	
	t m ³	t m ³	t m ³	

⑦活動による効果 3R 活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。 【廃棄物の削減効果】 【省資源・省エネルギー効果】 【環境保全効果】 【その他の効果】
⑧活動地域の範囲、他の 3R 活動主体や他地域との連携協力、地域密着性 3R 活動の実施地域の範囲を記入してください。 他の 3R 活動主体や他地域との連携・協力を行っている場合は、その内容を具体的に記入してください。 地域の特性や廃棄物問題を踏まえた 3R 活動である場合、その内容を具体的に記入してください。
⑨独創性・先進性 他にあまり例を見ない独創的な 3R 活動や、他に先駆けた先進的な取組を行っている場合は、その内容及び独創的・先進的であるとする理由を記入してください。

⑩啓発普及・教育活動の実施、波及効果

3R に関する啓発・教育活動を行っている場合は、実施内容と成果を具体的に記入してください。

他の事業所等の 3R 活動に与えた波及効果がある場合、具体的に記入してください。

⑪その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

⑫他の企業等の協力

他の企業等（納入業者・下請け企業・廃棄物処理業者・リサイクル業者等）の協力を得て 3R 活動を行っている場合、以下を記入してください。

(a) 協力を得ている内容を記入してください。

協力企業の業種	協力を得ている事項
(記入例) 建材メーカー	(記入例) 当工場で発生する廃棄パレットを原料にパーティクルボードを生産している。
(記入例) 資材納入業者	(記入例) 資材の空き容器を引き取ってもらっている。

(b) 協力企業における自社発生物のリサイクル状況の把握及び協力企業に対する支援等を行っている場合は、その内容を記入してください。

- (記入例)
- ・年 1 回、委託先の現地調査を行い、引き渡した廃棄物が確実に再生利用されたことを確認
 - ・廃液のリサイクルを委託するにあたって、共同で再生技術の研究開発を行った。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記 (A) ～ (D) に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 本表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で過去に受賞
 (B) 本表彰制度で、今回推薦される内容とは違うテーマの活動で過去に受賞
 (C) 他の表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で過去5年間に受賞
 (D) 他の表彰制度で、今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中

受賞歴及び 応募状況 (上記 (A) ～ (D) を 記入)	表彰制度名 (上記 (C)、(D) の場合、 記入)	受賞年度 (上記 (A) ～ (C) の場合、 記入)	受賞した賞の種類 (上記 (A) ～ (C) の場合、 記入)	受賞時の会社名・事業所名 が現在と異なる場合、 当時の名称 (上記 (A) ～ (C) で該当する 場合、記入)

上記で (A)、(C) に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R 実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

	過去（ 年度）受賞時の活動内容	今回推薦を受ける活動内容
3R 活動の内容 (拡大発展した ポイントが分か るように対比)	〔記入例〕 工場が発生する各種廃棄物・副産物を極力工場内でリサイクルするとともに、自社内で利用できないものは、リサイクル業者の協力により各種リサイクル製品の原料として有効利用を図った。これにより、最終処分量を5年前の1/5（発生量の20%）に削減した。	〔記入例〕 左記の取組に加え、工場内の各工程において製法・工法の改良、歩留り改善、容器・梱包等のリターナブル化等の手段によって、廃棄物・副産物の発生そのものを大幅に削減した。 これにより、最終処分量ゼロを達成した。
3R 対象品目 及び実施方法 について	〔記入例〕 ・塗料かす：樹脂成型品の増量材として再資源化 ・洗浄用有機溶剤：蒸留して低品位溶剤に再生 ・プラスチック端材：溶融ペレット化して売却 ・段ボール箱：古紙回収業者に引き渡しリサイクル ・廃木製パレット：破碎・チップ化して建材ボード原料としてリサイクル	〔記入例〕 ・塗料かす：静電塗装の採用で発生量を90%削減 ・洗浄用有機溶剤：純水洗浄に切替え全廃 ・プラスチック端材：工程内で100%循環利用 ・段ボール箱：通い箱に切替え発生量を95%削減 ・廃木製パレット：長寿命型のプラ製パレットの採用で発生量を60%削減。破損パレットは補修して再使用
活動の実施地域 について	〔記入例〕 当社〇〇工場、××工場の2事業所で実施	〔記入例〕 左記に加え、当社□□工場、△△工場及びグループ企業の2工場に技術移転を行い、現在全国6事業所で実施している。
活動の質的な 向上について		〔記入例〕 前回受賞時の取組内容はリサイクルに限定されていたが、現在は各工程で3R全般にわたる取組を組み合わせ、高い効果をあげることができた。
上記以外の進展 事項、アピール したいポイント	〔記入例〕 製法・工法の改良による副産物の発生削減技術は特許を取得した。この特許技術は同業他社や他業種の工場にも採用され、各種産業におけるリデュースの推進に寄与している。	

<参 考>

リデュース・リユース・リサイクル（3R）の取組の例について

1. リデュース（Reduce＝発生抑制）

製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや、廃棄物の発生を少なくすることをいう。

（取組の例）

- 製品をつくる時に、原材料を無駄なく効率的に使うよう工夫する。
- 製品を設計する時に、出来るだけ長く使えるような工夫をする。
- 簡易梱包や簡易包装に努める。
- 修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。
- 耐久消費材は手入れや修理をしながら長く大事に使う。
- 詰め替え容器に入った製品を選ぶようにする。
- マイバックを持って、無駄な包装は断るようにする。

2. リユース（Reuse＝再使用）

使用済製品やその部品等を繰り返し使用することをいう。

（取組の例）

- 製品を設計する時に、本体や部品のリユースがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品や部品の回収・リユースに努める。
- リターナブル容器に入った製品を選ぶようにする。
- フリーマーケットやガレージセールを開催し、不用品の再使用に努める。

3. リサイクル（Recycle＝再資源化）

廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用することをいう。

（取組の例）

- 製品をつくる時に、出来るだけリサイクル原材料を使う。
- 製品を設計する時に、使用後のリサイクルがしやすいような工夫をする。
- 使用済みとなった自社製品の回収・リサイクルに努める。
- 自社で発生した副産物・産業廃棄物のリサイクルに努める。
- 資源ゴミの分別回収に協力する。
- リサイクル製品を積極的に利用する。